



| 団体名 | 事業等の名称 | 事業の概要 (申請時) | | | 交付決定 年月日 | 事業予算(単位:円) | | |
|----------------------|--------------------------|--|---|--|-------------|------------|---------|---------|
| | | 事業の背景 | 事業の目的 | 事業の内容 | | 全体額 | 申請額 | 交付金額 |
| 1 もみの木コンサート 実行委員会 | 第17回 もみの木コンサート | 急激な市街化とマンション建設等で、自治会加入率も低迷し、共助、支え合いといった地域社会の連携意識の低下が懸念されている。また、次世代の担い手である子ども・青少年と地域住民とのつながりの弱さや、地域での育成も課題となっている。これらの課題を解決するためには、幅広い年代の住民が参加し、共感し合える、魅力ある地域の伝統行事を創造・継続することにより、地域の多くの人々が共有できる、愛着や誇りを持てる場を確保することが大切と考えた。 | 1. 中央地区の魅力ある冬の風物詩となった音楽会により、地域住民の連携・心の絆を結び深める。 2. 音楽文化の芽を育てるとともに、子どもたちを育成し、次世代の担い手を作り出していく。 3. 当日・準備を含め、各団体間の連携を強化しながら、地域活動の理解者・担い手を広げていく。 4. 幅広い世代の出演者・参加者が、ともに「ふれあい・支え合い」の感動体験を共有する。 5. 運営面や財政の課題に対し、各団体の知恵を結集し、課題解決の手法や地域力を高めていく。 | 1. 12月22日(土)に富士見小学校体育館を会場として、中央地区の全小学校・中学校・高校の児童・生徒、シニアさらに幼稚園等の団体による合唱・器楽合奏を行い、幅広い世代の人々が交流する。 2. 特別参加団体を設定し、地域の活動団体のPRの場とすると同時に、音楽文化の向上を図る。 3. 準備段階でも、活動団体の交流・連携の場を設定していく。(中高の吹奏楽の連携など) | H30.6.19 | 530,000 | 260,000 | 260,000 |
| 2 中央地区宇宙教室 実行委員会 | 第4回中央地区「子どもと大人 共に学ぶ宇宙教室」 | 中央地区には、国内有数の国の宇宙科学研究機関JAXAや、プラネタリウムを有する博物館等の教育施設があります。この恵まれた学習環境を生かし、地域の子どもたちを中心に宇宙科学の素晴らしさをじかに触れることにより、夢と希望のある情操教育を育む必要性を強く思い、過去3年間地域活性化を図って参りました。JAXAを通して学ぶ宇宙は奥が深く、私たちが宇宙文化を創造し誇りをつなぎ未来の子どもたちに大きな夢や限らない挑戦の心を養うには、まだまだこの活動は充分ではありません。この地域活性化事業を長期にわたって継続し実施していくことが、地域発展の一端を担うものと確信しています。これにより本年も引き続き申請致します。 | 過去3年間実施した「子どもと大人 共に学ぶ宇宙教室」の成果を得て、更なる「学術・文化の中央地区としての地域活性化をはかり、「街づくり」に貢献します。 今回は「地球・生命・環境」をテーマに置き、地球を取り巻く環境問題を主流に展開します。JAXAの先生の講義、名古屋より文学博士からの講義、相模野病院ドクターの講話、相模原市環境共生部・地球温暖化対策協議会から講義と実践、研修会は、磁気逆転の「チバニアン」の地層や、「JAXA勝浦宇宙通信所」を見学。等様々な角度から学習します。 | 第1回:9月1日「開講式」と「宇宙の地球と生命について」 第2回:11月3日~4日研修会「『チバニアン』と『JAXA勝浦宇宙通信所』見学」 第3回:12月16日「生命の起源を探る探査機『はやぶさ2』と『星の王子さま』」 第4回:1月26日「人間のこの大切な命について」相模野病院・先生 第5回:2月9日「地球環境と相模原の星空観察」 第6回:3月9日「開講式」と「JAXA見学」と「プラネタリウム映画鑑賞」 公民館子どもまつり、公民館まつり、ふるさとまつりで宇宙教室のPR活動 | H30.6.19 | 1,200,000 | 460,000 | 460,000 |
| 3 西門活性化協議会 | 西門アクティベーションプロジェクト | 商店街にかつての賑やかさを取り戻したい！ひとつずつシャッターを開けていきたい！でも集客が見込めない今の状況では、出店者を募ることも難しい.....それならば、まずはたくさんの方が足を運んでくれる場所にしよう！と考えました。これまでも西門商店街では様々なイベントが企画・開催されてきましたが、継続性がなく、その時だけ人が集まって終わりというものでした。店主の高齢化など様々な要因で衰退していきばかりです。 | 「October Fest ハロウィンまつり」を皮切りに、四季折々の行事に関連したイベントを毎月開催しながら、イベント以外の日もバス通りに面したコミュニティスペース(旧桜待夢)を各種出店やワークショップなどで活用することにより、周辺地域及び相模原市内の人たちに「西門商店街へ行けば何かおもしろいことがある」という意識を持ってもらう。また、「October Fest ハロウィンまつり」の際の装飾やオブジェをその後も残し、インスタ映えするスポットとして、西門商店街のシンボルとします。そして、親子連れだけでなく、20代、30代のカップル、仕事帰りの方々まで、幅広い世代に対して、西門商店街の知名度を上げることを目的とします。 | アーケード等の装飾 バルーンやひょうたんランプで商店街を装飾し、西門商店街のシンボルスポットとします。 イベントの実施 October Fest ハロウィンまつり 日時 10月27日(土)10時~20時 場所 西門商店街及び買い物公園・ステージ 内容 ストリートライブ、ものづくり体験、アーケード内及び屋内での物販、キッチンカーでの飲食物販売、ハロウィンパレードほか 以降、11月24日(土)に「November Fest 西門感謝祭」、12月22日(土)に「December Fest クリスマス」を実施する。 コミュニティスペースの活用 バス通りに面したコミュニティスペース(旧桜待夢)を活用し、手作り体験やセミナー、ライブ演奏などを行い、イベント実施日以外の日も楽しめる西門商店街を作ります。 | H30.10.11 | 600,000 | 566,000 | 566,000 |

| 団体名 | 事業等の名称 | 事業の概要 (申請時) | | | 交付決定 年月日 | 事業予算(単位:円) | | |
|-----------------------|--------------------------|---|---|---|-------------|------------|-----------|-----------|
| | | 事業の背景 | 事業の目的 | 事業の内容 | | 全体額 | 申請額 | 交付金額 |
| 4 ちゅうおうくらしねっと | 中央地区情報PortalSiteプロジェクト | 中央地区には、市役所をはじめ様々な行政機関、公共機関、施設等があり、多くのイベント、セミナーなどが開催されています。イベントなどの紹介、会議の議事録は、各機関のWebサイトや、広報誌で、ばらばらに告知されていました。そこで、各機関のWebサイト、広報誌などで、ばらばらに告知されていたイベント案内、議事録などの結果報告をまとめて住民の方の目に触れやすくするため、平成29年度の地域活性化交付金を活用し「ちゅうおうくらしねっと」をスタートさせました。仕組みは、出来ましたが、知名度が低い事、記事掲載依頼が少ない事、掲載された情報のバックアップ体制が未熟などの課題が残っています。2年目は、これらの課題への対応が求められています。 | 点在する中央地区の情報を一元化する為に構築した「ちゅうおうくらしねっと」を有効に活用し、地域主導による中央地区の情報発信を推進し、情報の共有を通じて一層の地域の活性化を図ることを目的とします。スタートした「ちゅうおうくらしねっと」を運営し、「ちゅうおうくらしねっと」への中央地区のイベント、セミナーなどの予定・実施報告、また各種協議会の議事録などの活動報告の掲載を継続し、情報発信を通じて中央地区の活性化を推進します。 | 2年目を迎え、ちゅうおうくらしねっとを活用した地域の活性化の為に、以下の活動を行います。 中央地区の諸団体が主催するイベント、セミナー、会議等の開催案内と実施報告の掲載継続に加え、中央地区の住民の豊かな生活に役立つ周辺地区の祭り等、季節のイベントをタイムリーに紹介します。 天候不順による行事予定の変更などの告知を、タイムリーに行います。 読者のアクセス状況を分析し、読者のニーズに応える内容の充実を推進します。 中央地区の諸団体に一層のサイトの告知を行い、団体からの情報掲載の拡大を推進します。 中央地区にお住まいの方へのサイトの周知度の向上を図ります。 | H30.10.11 | 303,000 | 303,000 | 303,000 |
| 5 中央地区自治会連合会 | 中央地区振り込め詐欺対策事業 | 全国で多くの被害を出している振り込め詐欺は、相模原市、中央区も例外ではなく、多くの被害が報告されている。このような背景を踏まえて、相模原市自治会連合会中央区連絡会では、地区をまたぐ取り組みとして詐欺防止ステッカーの作成を行ったが、数量に限られており、中央地区の実情に即した追加対応の必要性が議論されてきた。 | 中央地区における振り込め詐欺被害の状況は、平成30年の1年間で13件(被害総額:約2,100万円)と中央区内でワースト2となっている。この状況から、被害の中心となっている高齢者に向けた啓発だけでなく、詐欺被害防止という目線で周りの高齢者を気にかける地域づくりのため、自治会に加入する全世帯を対象とした事業を実施する。 | ・振り込め詐欺防止のステッカーを、中央地区の自治会に加入する全世帯分作成する。 ・各自治会をとおして、ステッカーを全加入世帯に配付し、自宅の電話機付近に貼ってもらうことで、詐欺に対する意識を高め、被害を未然に防ぐ。 | H31.2.14 | 103,000 | 103,000 | 103,000 |
| - 相模原市自治会連合会中央区連絡会 | 中央区振り込め詐欺対策事業 9地区合同事業 | 全国で多くの被害を出している振り込め詐欺だが、相模原市、中央区もその例外ではなく、平成29年に確認された被害件数は相模原市全域で83件(被害額:約2億3,500万円)、中央区内は41件(被害額:約7,700万円)に上っている。各地区においても対策を求める声は多く、警察や行政の取り組みに加え、自治会をはじめとした、地域の住民自身による啓発活動等も実際に行われている。しかしながら、平成30年に入ってから被害件数は増加傾向にあり、警察・行政と地域とが連携した一層の取り組みが必要となっている。 | 詐欺被害の中でも特に近年の高齢者の詐欺被害増加に着目し、高齢者向けの詐欺対策を講じることで、1件でも多くの詐欺被害を未然に防ぐことを目的とする。 | ・振り込め詐欺防止のステッカーを作成し、各地区において自治会加入者に限らず詐欺被害が危惧される高齢者世帯を対象に配布する。 ・ステッカーを自宅の電話機付近に貼ってもらうことで、詐欺に対する意識を高め、被害を未然に防ぐ。 | H30.12.13 | 138,000 | 138,000 | 138,000 |
| | | | | | | 2,736,000 | 1,692,000 | 1,692,000 |

9地区合同事業以外の合計額